

目 次

I 構造化プログラミング論 Edsger W. Dijkstra

1	読者へ	1
2	人間の能力不足について	2
3	機械装置の信頼性について	4
4	知性の道具について	7
5	正しさの証明の例	13
6	証明の有効性と処理系の有効性について	16
7	プログラムの理解について	18
8	プログラムの比較について	26
9	プログラムの段階的作成 (例1)	30
10	プログラムの一族について	44
11	計算速度の向上に記憶領域を使うことについて	48
12	プログラムのモデルについて	51
13	プログラムの段階的作成 (例2)	58
14	これまでやってきたことについて	68
15	グループ分けと流れの制御について	73
16	設計に関する詳細な考察	78
17	エイトクイーンの問題	83

II データ構造化序論 C. A. R. Hoare

1	はじめに	97
2	型の概念	106
3	構造のないデータ型	112
4	直積	119
5	直和	126
6	配列	131
7	べき集合	139
8	列	148

目次	v
9 再帰的データ構造	161
10 疎データ構造	168
11 例題——試験時間割	176
12 公理化	187
参考文献	195

III 階層的プログラム構造 Ole-Johan Dahl, C. A. R. Hoare

1 はじめに	197
2 準備	198
3 対象のクラス	202
4 コルティン	208
5 リスト構造	217
6 プログラムの接続	226
7 概念の階層	233
参考文献	246

索引	247
----	-----